



旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)の公開

について

松戸市では、平成 27 年 3 月に旧徳川昭武庭園が国の名勝に指定されたことを受けて、翌 28 年から復元工事を開始し、平成 30 年 3 月に完了しました。

同庭園は、戸定邸に接して南に広がる書院造庭園と福島県学生寮跡地に復元された東屋庭園の 2 つの区画に分けられます。この 2 つの区画について、徳川昭武が戸定邸で暮らしていた明治時代の姿を目指して、同時期の古写真や文字記録を調査し、庭園の本質的価値を高めるべく下記の工事を行いました。

- 1 明治時代に存在しなかった樹木及び樹形が崩れたものの撤去、移植。
- 2 明治時代に存在していた樹木の補植。
- 3 当初存在していた飛び石の復元及び存在していなかったその撤去。
- 4 園路復元。
- 5 書院造庭園の芝生面を 10 cm 下げ、作庭当時の高さにしました。
- 6 東屋庭園の地形復元
- 7 同上庭園に存在していた東屋及び植栽の復元

今回の工事で捕植及び移植した樹木が明治時代の巨木の姿に育つまで、数十年を要するものと思われます。今後計画的な育成管理を行います。

東屋庭園は 6 月 1 日から一般公開されます(無料)。また、書院造庭園は現在も戸定邸(要入館料)からご覧いただけますが、6 月より建物から書院造庭園に降りられる「戸定の日」を復活させます。6 月の予定日は 10 日(日)、20 日(水)、30 日(土)です。

7 月 1 日(日)まで戸定歴史館展示室(要入館料)では復元の根拠となった古写真や文字記録などを展示しています。庭園とあわせてご覧ください。

入館時間 9 時半～16 時半(17 時閉館)。公園は 9 時～17 時

休館日 月曜日(休日祝日の場合は開館し、その翌日休館)

入館料

5 月 30 日まで 歴史館・戸定邸共通入館料 一般 240 円、戸定邸のみは 150 円。



やさシティ、まつど。
matsudo

6月1日より 歴史館・戸定邸共通入館料 一般 320 円、戸定邸のみは 250 円

*なお、別添資料で庭園の見所を7つに絞って紹介しています。

【問い合わせ先】

生涯学習部戸定歴史館

☎ 0 4 7 - 3 6 1 - 0 0 5 6

甦った 幻の徳川の庭

—わが国現存最古の洋風庭園—

戸定邸を建てた徳川昭武が心血を注いで完成させた国指定名勝「旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）」の復元工事が終了し、いよいよ6月1日から一般公開されます。

2ヵ年に及ぶ工事を通じて、この庭園はわが国現存最古の洋風庭園であることが明らかになりました。また、単純に見える造形の中に、いくつもの見所が隠されていたことも明瞭になりました。



国指定名勝 旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）

庭園は戸定邸に接する書院造庭園とその南方に広がる東屋庭園の2つの区画からなる。その内から7つの見どころを紹介します。

- A (玄関前) ヒヨクヒバの巨木の木立ちと躍動感溢れる枝ぶり →写真 1
- B 洋風技法により、戸定邸の軒下まで敷き詰められた芝生 →写真 2、3、4
- C コウヤマキの巨木やアオギリの木立ち →写真 2、3、4
- D 樹齢 2~3 百年にも及ぶツツジやサツキ →写真 4
- E ダイナミックに、そしてしなやかに変化する地盤面の曲線 →写真 5
- F 急峻な崖沿いに建つ茅葺の東屋 →写真 7
- G 標高 25m からの江戸川、富士山への眺望 →写真 7

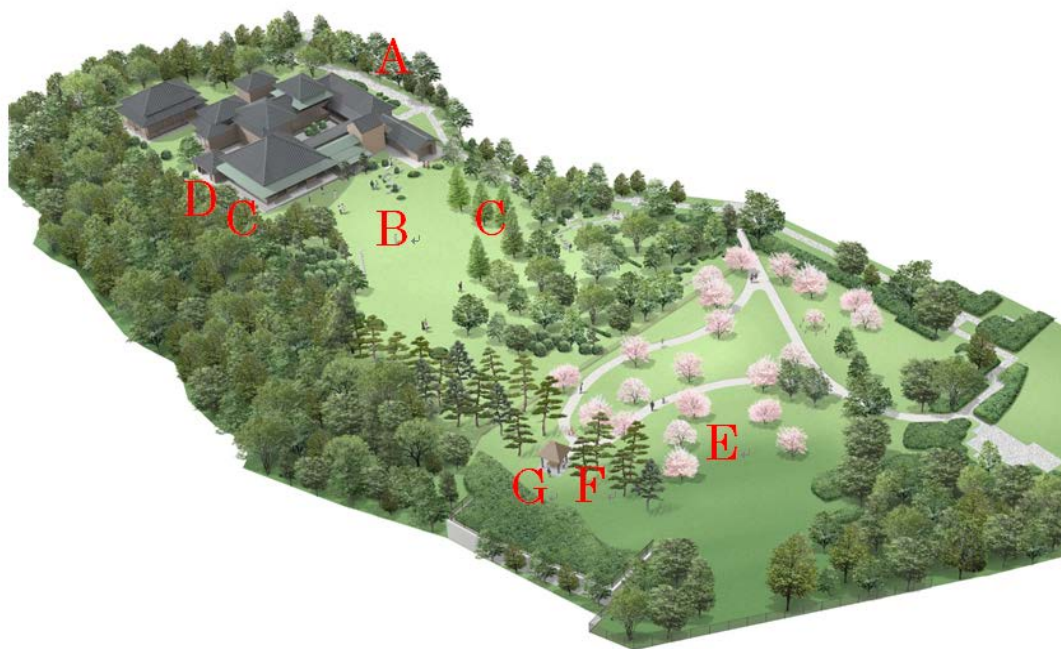


写真 1 【A】

選び抜かれた 5 本の巨木がお客様を迎えます。
 玄関北側の一本は斜め下に太枝が伸び、途中から直角に上に屈曲しています。



写真2 【B】

洋風技法による芝生は現存最古です。130年間で10cm高くなっていた芝生面を明治時代の姿に復元しました。書院造庭園東側から南へ8本のコウヤマキが連なります。7~10mのもの4本が補植され、数十年の後には巨木の木立ちが復元されます。



写真3 【C】

手前のコウヤマキ（樹高約10m）は市民から寄附されました。かつて、この場所には最も立派なコウヤマキが植えられていましたが、落雷により失われていました。



写真4 【C】【D】

徳川昭武は、太く枝振りの優れたアオギリを探し出し、10本の木立ちとしました。移植位置、樹形は古写真から割り出しました。アオギリの後ろにツツジとサツキが連なります。専門家の調査により、樹齢2~300年と推定されました。



写真5 【E】



写真6 【F】

左手（南）方向に緩やかな斜面が続きます。建物の建設により、完全に破壊されていた幻の東屋庭園が甦りました。地形復元により、自然の造形が巧みに活かされていることが明らかになりました。写真6は南東から北西方向を見た姿です。



写真7 【G】

東屋は庭園西側の崖に面しています。古写真に写っていた節のある柱は関係者の協力によって、類似のものが探索されました。ここからは25mの標高とは思えない高さを実感できます。空気が澄んでいれば、中央やや左の高層ビルの左手に富士山が見られます。また、戸定邸表座敷からも西方向に富士山が見られます。